

欧米における道路通信の標準化動向

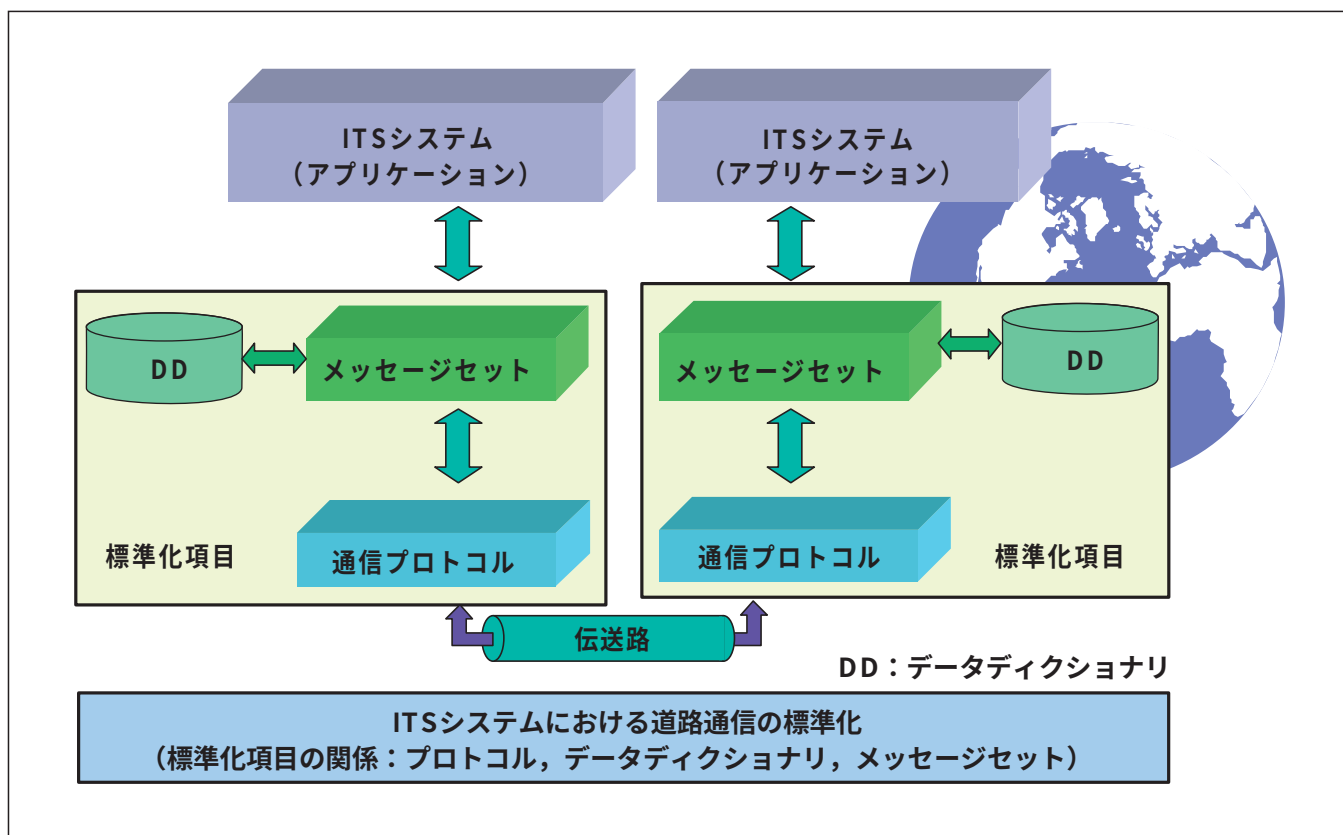
松永 誠*

要 旨

欧米で進められているITS(Intelligent Transport Systems：高度道路交通システム)道路通信で取り扱う情報定義、通信方式の標準化の動向の概要について述べる。米国ではNTCIP(National Transportation Communication for ITS Protocol)と呼ばれる通信プロトコル、データディクショナリ、メッセージセット等の標準化が、欧州ではDATEX-Netと呼ばれるデータ交換の標準化が進められている。これらは、ITS各分野におけるシステム間・装置間の相互運用性・互換性を確保し統合的にITSを展開していくための基盤整備の重要項目である。両者とも標準的な通信プロトコルが採用されているが、情報内容、メッセージフォーマットについては、NTCIPがASN.1(Abstract

Syntax Notation 1)で記述したMIB(Management Information Base)構造を、一方、DATEX-Netは独自構造の辞書とEDIFACT(Electronic Data Interchange For Administration Commerce and Transport)に従ったメッセージ仕様になっており、共通性がない。しかし、センタ一間通信に関しては、米国から提案されたDATEX-ASNという標準化案に対し欧州で前向きな評価がなされており、統一化の兆しが見られる。

我が国においても、ITSの基盤整備に資するため、道路通信に関する標準化の検討が進められており、今後の展開に注目したい。



ITS道路通信の標準化項目

ITS各分野におけるシステム間・装置間の相互運用性・互換性を確保することによってITSを統合的に展開していく上で不可欠の基盤として、道路通信の標準化が進められている。欧米が先行して標準化を進めており、標準化項目としては、通信規約、データディクショナリ、メッセージセットの三本立てで進められている。